

水稻品種「はれわたり」の特性

～ 胴割粒の発生が少なく、栽培特性が優れる良食味品種を開発 ～

要約

胴割粒の発生が少なく、栽培特性が優れる良食味品種、「はれわたり」を育成しました。播種の際、ハト胸状態をきちんと確認する必要があります。

研究成果の概要

1. 背景・目的

本県では「つがるロマン」が広く作付けされてきましたが、高温年に胴割粒の多発による品質低下が認められたことなどにより、年々作付面積が減少しています。そのため、「まっしぐら」の作付偏重に拍車がかかり、生産・販売両面でのリスクが高まっています。

そこで、胴割粒の発生が少なく、栽培特性が優れる良食味品種を育成しました。

2. 内容

表 「はれわたり」の主要特性

品種名	早晚性	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	玄米 収量 (kg/a)	同左 標準比 (%)	玄米 千粒重 (g)	玄米 品質	胴割粒 発生 割合 (%)	穂発芽 性
はれわたり	中生早	8月1日	9月11日	79	61.8	97	22.9	上中	9.2	極難
つがるロマン	中生中	8月2日	9月13日	79	64.0	(100)	23.2	上中	37.4	やや難
まっしぐら	中生早	7月31日	9月11日	75	62.6	98	23.2	上下	20.0	難

胴割粒の発生は明らかに少ない。

品種名	いもち病抵抗性		耐倒伏 性	障害型 耐冷性	玄米	白米
	葉 いもち	穂 いもち			タンパク質 含有率 (%)	アミロース 含有率 (%)
はれわたり	強	極強	やや強	強	6.2	16.5
つがるロマン	やや強	中	中	やや強	6.2	18.3
まっしぐら	強	やや強	強	やや強	6.3	17.5



胴割粒発生状況（令和元年産米）

(注) 平成27～令和4年、農総研(黒石市)標肥区の結果。

胴割粒発生割合はグレインスコープで調査した結果で軽微な胴割れを含む。

玄米タンパク質含有率は水分15%換算値。

アミロース含有率が低いため、飯米は粘りが強く、軟らかい。

3. 活用等

- 安定して良食味・高品質米生産を行うため、作付けは『「はれわたり」栽培マニュアル(暫定版)』を参照してください。
- 穂発芽性が「極難」であり、種子の休眠が深いことから、播種はハト胸状態をきちんと確認して行ってください。



「はれわたり」の草姿

関連情報

令和4年4月に青森県の奨励品種に指定されました。

令和5年度は約2,200ha作付けされ、本格デビューしました。

農林総合研究所 水稻品種開発部

Tel. 0172-52-4312

E-mail nou_souken@aomori-itc.or.jp

あomorいの未来、技術でサポート

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

